

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **06071952 A**

(43) Date of publication of application: **15.03.94**

(51) Int. Cl

B41J 5/30

B41J 29/38

G06F 3/12

(21) Application number: **04228698**

(71) Applicant: **BROTHER IND LTD**

(22) Date of filing: **27.08.92**

(72) Inventor: **OHARA KIYOTAKA**

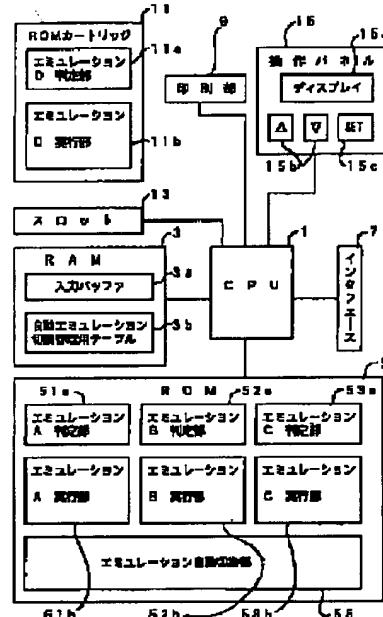
(54) PRINTING DEVICE

(57) Abstract:

PURPOSE: To provide a printing device capable of using many kinds of emulations correctly by simple operation.

CONSTITUTION: A ROM 5 connected to a CPU 1 comprises an emulation A determining section 51a, an emulation A executing section 51b, an emulation B determining section 52a, an emulation B executing section 52b, an emulation C determining section 53a, an emulation C executing section 53b, and an emulation automatic switching section 55. A ROM cartridge 11 detachable from a slot 13 connected to the CPU 1 comprises an emulation D determining section 11a and an emulation D executing section 11b. Based on set priority order of the emulations, a switch control table 3b is made. When printing information is inputted, the CPU 1 selects the emulations in accordance with the priority order by the emulation determining sections.

COPYRIGHT: (C)1994,JPO&Japio



4
[REDACTED]
[REDACTED]
公開実用 昭和60— 71952

④日本国特許庁 (JP)

①実用新案出願公開

②公開実用新案公報 (U) 昭60-71952

④Int.Cl.¹

G 06 F 3/037

識別記号

庁内整理番号

7060-5B

④公開 昭和60年(1985)5月21日

審査請求 未請求 (全 頁)

④考案の名称 ライトペン位置決用スクリーン

④実 願 昭58-159829

④出 願 昭58(1983)10月14日

④考 案 者 立 松 岸 生 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内

④出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目33番1号

④代 理 人 弁理士 井ノ口 寿

明細書

1. 考案の名称

ライトペン位置決用スクリーン

2. 実用新案登録請求の範囲

ORTディスプレー上のライトペン受光部の大きさと同程度の貫通孔が、所定の寸法間隔で設けられた、光透過性の薄板よりなり、ライトペンの受光部と前記貫通孔がそれぞれ対向するよう前記ORTディスプレー上に取付け可能なよう構成したライトペン位置決用スクリーン。

3. 考案の詳細な説明

本考案はパソコン・コンピュータ等で使用されるORTディスプレーに付設されているライトペンの操作における信頼性向上に役立つライトペン位置決用スクリーンに関する。

パソコン・コンピュータ等においては、主にキーボードのキーを押下することによりデータを入力しているが、特定の熟練者以外はキー

公開実用 昭和60- 71952

ポート操作に相当の時間を必要としているため不特定多数の利用者を対象とする場合は不適当であつた。

そのため C R T ディスプレー上のマークをライトペンで押下することにより入力する操作法が使用されているが、ライトペンの押下する角度、位置のズレにより誤つたデータが入力されることが多いという欠点があつた。

第 1 図は従来のライトペン操作を説明するための C R T ディスプレー斜視図である。

作業者は手 3 でライトペン 4 を持ち、C R T ディスプレー 1 の画面上のマーク 2 から入力する場合、ライトペン 4 の受光部 5 をマーク 2 に一致させ、C R T ディスプレーの画面を押下する。この際、目測によるためライトペン 4 の画面に対する角度およびマーク 2 よりのズレ等により入力されるデータが誤ることが多かつた。

本考案の目的は C R T ディスプレー上におけるライトペンのデータ入力操作を正確に行なえるようにしたライトペン位置決用スクリーンを

提供することにある。

前記目的を達成するために本考案によるライトペン位置決用スクリーンは CRT ディスプレー上のライトペン受光部の大きさと同程度の貫通孔が、所定の寸法間隔で設けられた、光透過性の薄板よりなり、ライトペンの受光部と前記貫通孔がそれぞれ対向するように前記 CRT ディスプレー上に取付け可能なように構成してある。

前記構成によれば CRT ディスプレーの文字記号の識別を妨げることなく、ライトペンの位置を正確に決めることができ本考案の目的は完全に達成できる。

以下、図面を参照して本考案を詳細に説明する。第 2 図は本考案による位置決用スクリーンの実施例を説明するための CRT ディスプレー斜視図である。スクリーン 7 は光を透過する薄い板で構成されている。CRT ディスプレー画面上のマークに対応した位置にライトペン 4 の受光部 5 を挿入可能な寸法の貫通孔 8 を設けて

公開実用 昭和60- 71952

ある。スクリーン7の四角には粘着テープ9が貼付してある。C.R.Tディスプレーの画面上にはこの粘着テープ9によつてスクリーン7が取付けられる。その際、各貫通孔8はそれぞれ対応のマーク2に対面させられるように位置合せがなされる。

作業者がライトペン4によつてデータを入力する場合、スクリーン7を通して識別記号を確認し、貫通孔8を案内にしてマーク2を正確に押下できる。

以上、説明したように本考案によればライトペンの受光部を貫通孔によつてガイドできるのでライトペンによるデータの入力が正確かつ迅速に行える効果がある。

4. 図面の簡単な説明

第1図は従来のライトペンの操作方法を説明するためのC.R.Tディスプレー斜視図、第2図は本考案によるスクリーンの一実施例を説明するためのC.R.Tディスプレー斜視図である。

1 ... C.R.Tディスプレー



2 … マーク	3 … 作業者の手
4 … ライトペン	5 … 受光部
6 … 識別文字	7 … スクリーン
8 … 貫通孔	9 … 粘着テープ

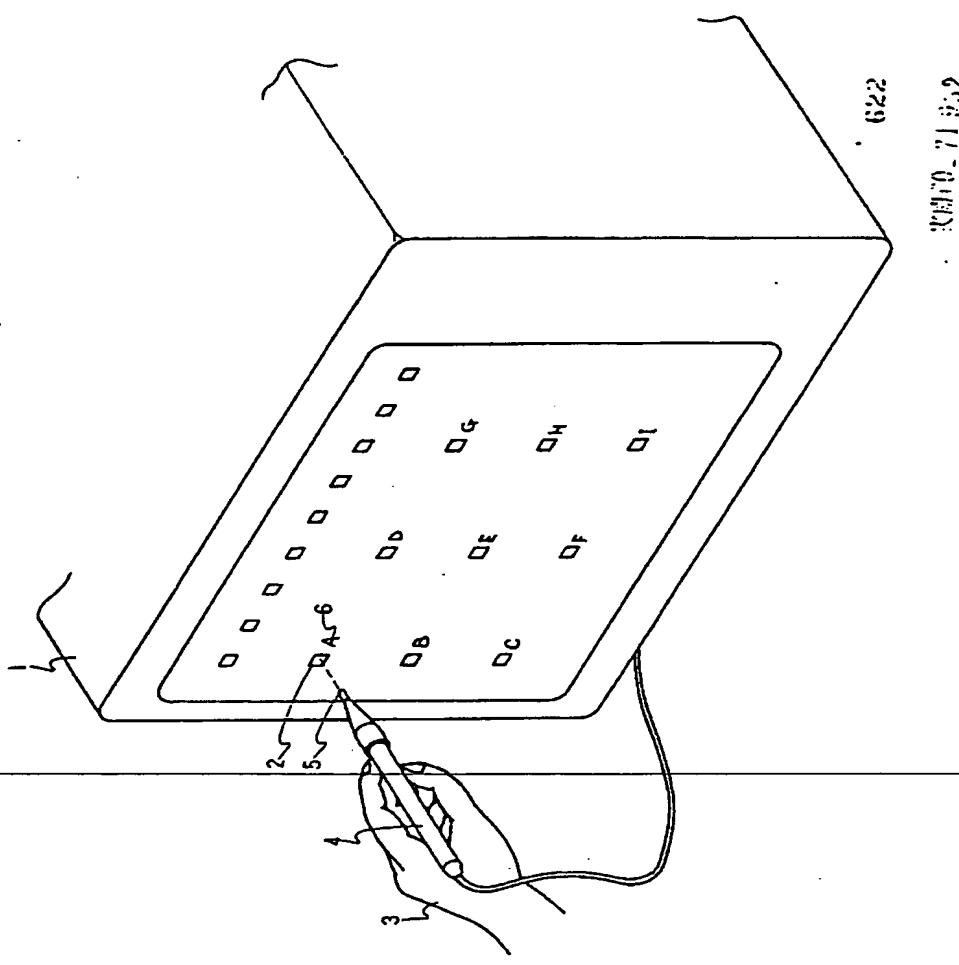
実用新案登録出願人 日本電気株式会社

代理人 弁理士 井ノ口壽



才一圖

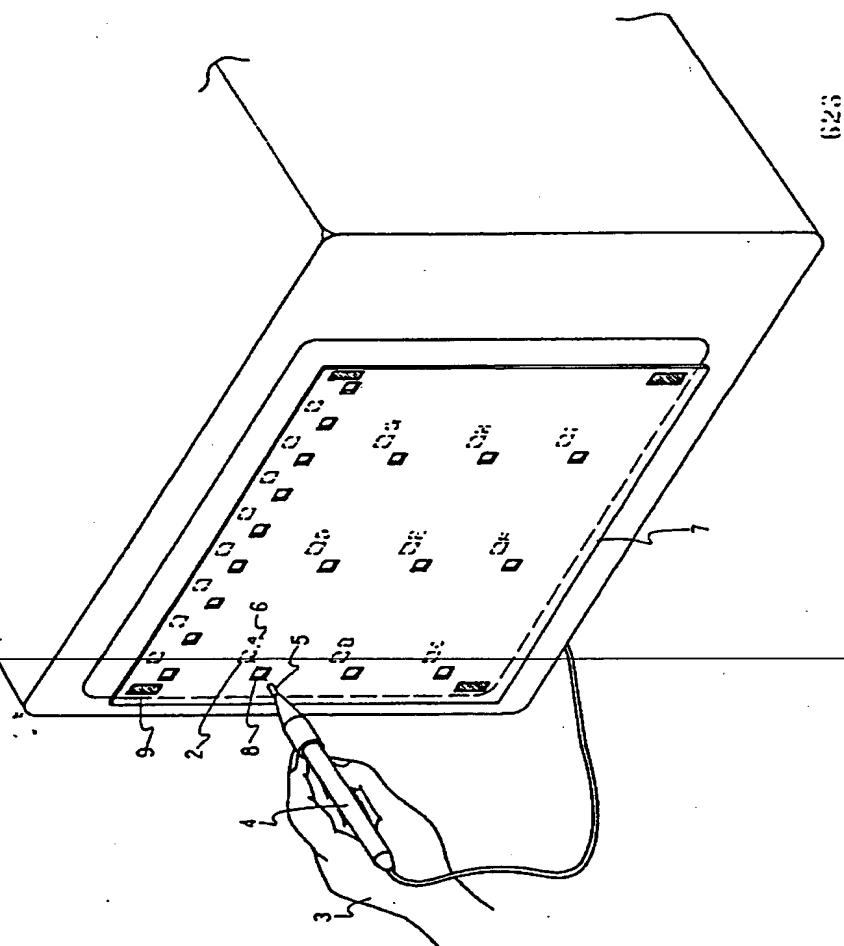
(7)



昭和60.7.19.52

(8)

図2



特開平11-71952
代理人弁理士井ノ口 錠